

教室の一年の歩み

– 2024 –

江口 晋

2024年12月7日

長崎大学移植・消化器外科 同門会（鐘韻会）

**長崎大学 移植・消化器外科(第二外科)
教室構成員**

同門会員数 373名 (女性：29名)
(本年ご逝去者3名)

関連施設数 30施設

現役教室員数 90名（女性：14名）

- 大学内 28名 (女性：6名)
- 関連施設 58名
- 国内外留学 4名

(2024年12月7日現在)

逝去者(2023.12～2024.11)

- ・ 本田 遜(ゆずる) 先生(昭和35年卒) 2023年 12月 3日 ご逝去 享年88歳
- ・ 松山 茂樹 先生(昭和55年卒) 2024年 8月 30日 ご逝去 享年77歳
- ・ 田中 保郎 先生(昭和42年卒) 2024年 9月 7日 ご逝去 享年81歳
- ・ 瀧 紀雄 先生(昭和42年卒) 2024年 4月 2日 ご逝去 享年83歳

2024年の長寿祝い

【米寿88歳（昭和12年生）】

古賀敏治 先生（昭和12年5月14日）

福井 洋 先生（昭和12年9月 2日）

山口哲磨 先生（昭和12年6月16日）

乗富 智 先生（昭和12年1月26日）

古川正人 先生（昭和12年8月14日）

【喜寿77歳（昭和22年生）】

有留義哲 先生（昭和22年2月5日）

押淵 徹 先生（昭和22年1月30日）

草野義輝 先生（昭和22年10月3日）

永松徳和 先生（昭和22年1月3日）

福田貞義 先生（昭和22年3月28日）

岡田 朋久 先生（昭和22年7月28日）

小副川芳夫先生（昭和22年12月9日）

谷口 晴幸 先生（昭和22年3月29日）

橋口 義雄 先生（昭和22年5月13日）

前田 滋 先生（昭和22年1月21日）

大学外科教室のミッション

1. 人材育成

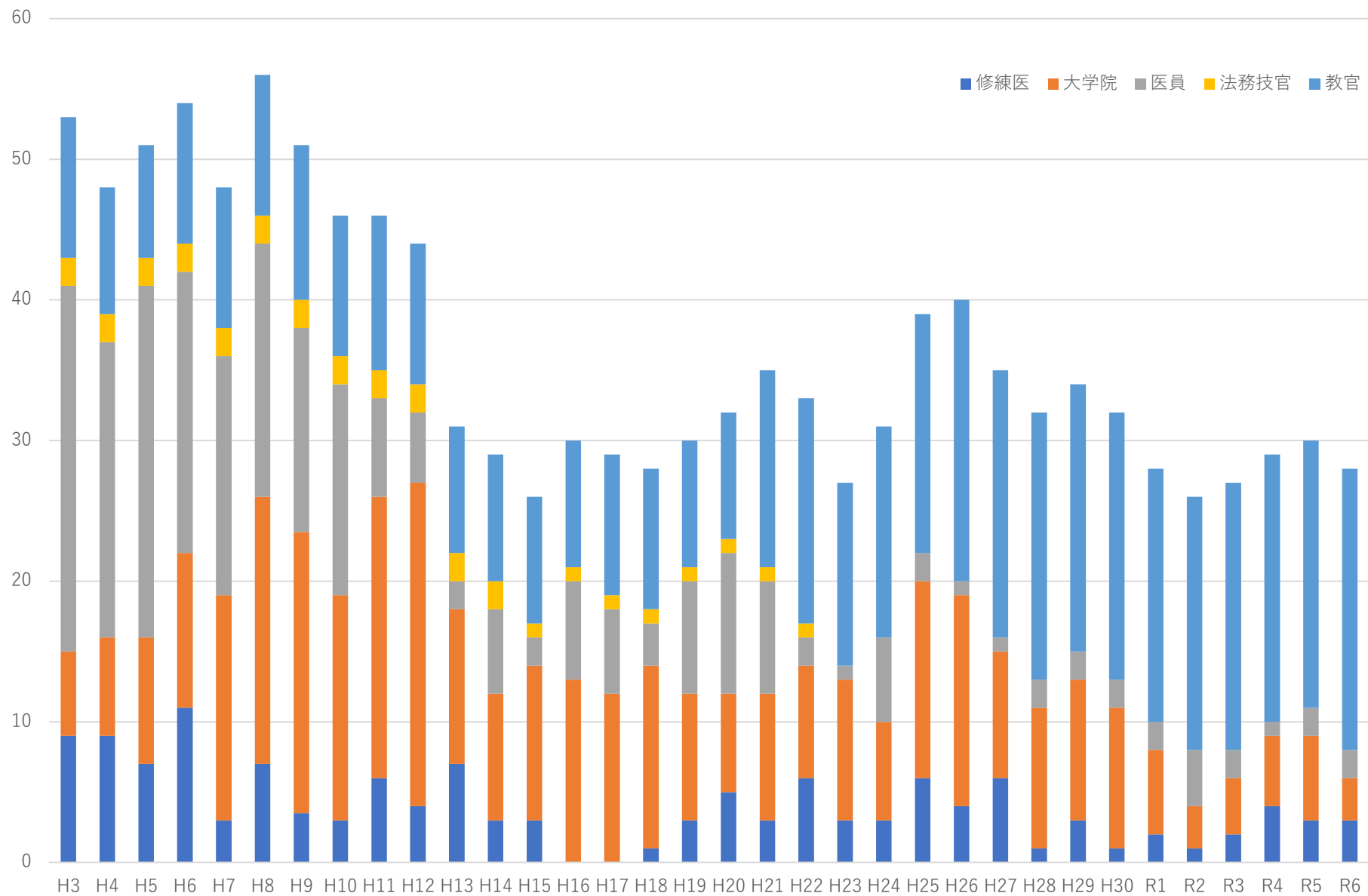
専門医・地域医療・教育者・社会/国際医療

2. 情報発信

臨床・研究・社会/国際貢献

教室の構成と現況 2024

大学勤務医師数



教員人事

採用・昇任

木下 綾華（平成18年）	長崎大学病院	助教	（2024年4月1日付）
濱田 隆志（平成23年）	長崎大学病院	助教	（2024年4月1日付）
藤田 拓郎（平成24年）	長崎大学病院	助教	（2024年6月1日付）
松隈 国仁（平成23年）	長崎大学病院	助教	（2024年9月1日付）

転出

森田 道（平成20年卒）	助教	長崎医療センター	（2024年3月31日付）
永川 寛徳（平成23年卒）	助手	ロッテルダム Erasmus MC	（2024年3月31日付）
山下 万平（平成23年卒）	助教	カリフォルニア大学ロサンゼルス校	（2024年7月31日付）

新入局員



行武 彩季 H31



大島 幹生 R4



太田 成美 R4



小野 稔晃 R4

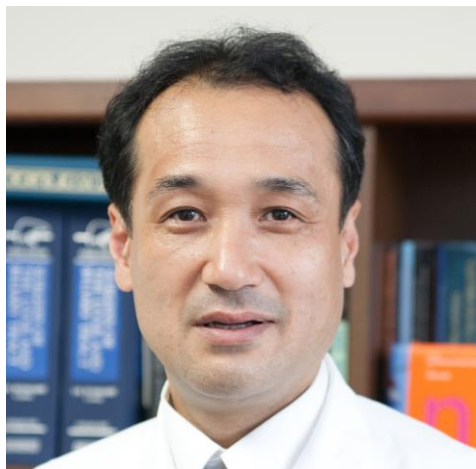


萩原 朋也 R4



永吉 一生 R4

教授



江口 晋 H4

移植・消化器外科
副病院長(安全)

学会理事 **日本消化器外科学会**

日本消化器病学会

日本肝胆膵外科学会

日本移植学会

日本肝移植学会

日本再生医療学会

日本Acute Care Surgery学会

国際外科学会 日本部会

アメリカ外科学会 日本支部

九州消化器癌化学療法研究会 (KSCC)



永田 康浩 S61

医学部地域医療学講座



金高 賢悟 H6

消化器・再生医療学講座



林田 直美 H10

原研センター共同研究推進部

准教授



小林和真 H6
(化学療法G)



曾山 明彦 H12
先端技術展開
外科学講座



足立智彦 H12
(肝胆膵G)

講師



久芳さやか H13
(乳腺・内分泌G)

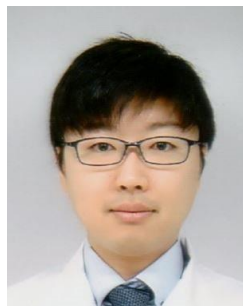


小坂太一郎 H14
(小児G)



井上悠介 H16
(下部G)
医局長

助教



小林慎一郎H18
(上部G)



木下綾華H18
(肝胆膵G)



原 貴信H19
(肝胆膵G)



松島 肇H19
(肝胆膵G)
副医局長



今村一步H21
(肝胆膵G)



赤司 桃子 H20
(乳腺・内分泌
G)



足立 利幸 H23
(下部G)



濱田隆志H23
(肝胆膵G)



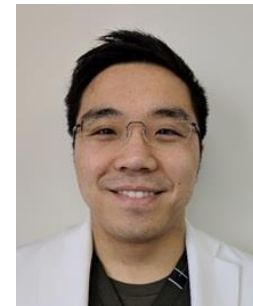
松隈国仁H23
(化学療法G)



三好 敬之 H24
(下部G)



藤田拓郎 H24
(小児G)



村上 俊介 H25
(上部G)



宮本大輔



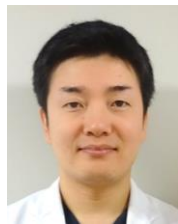
猪熊孝実 H13
救命・救急センター

大学院生

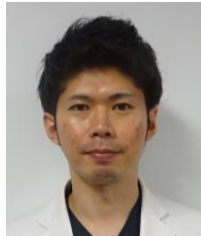
4年生



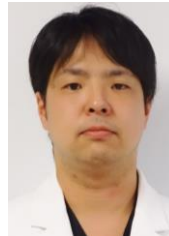
藤田 拓郎 H24



福本 将之 H27

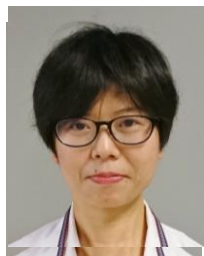


吉野恭平 H27



円城寺貴浩 H25

3年生



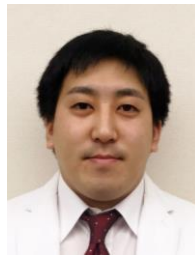
哲翁 華子 H28



右田 一成 H29



川口 雄太 H29



栗寄 健 H29



李 陸洋

2年生



佐藤 彩香 H30



Askeyev Baglan

1年生



笠 伸大郎 H29



李 天洋

医員

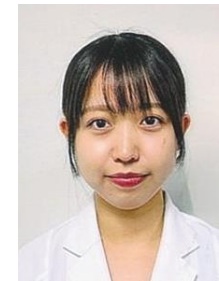


行武 彩季 H31



牟田裕貴 R3

修練医



太田 成美 R4



小野 稔晃 R4

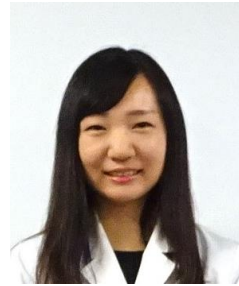


永吉 一生 R4

ラボさん



長谷川さん
江口班事務



草野さん
教授秘書



原口さん
乳腺班
業務サポート



村井さん
予算管理
実験室



濱口さん
胆膵データ入力
受付



柴田さん
医局長秘書



高柳さん
上部班
業務サポート
NCD入力



森さん
医師事務
作業補助



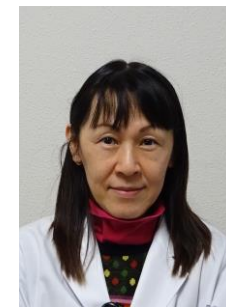
沼崎さん
受付



林田さん
受付



永濱さん
先端技術展開
外科学講座事務

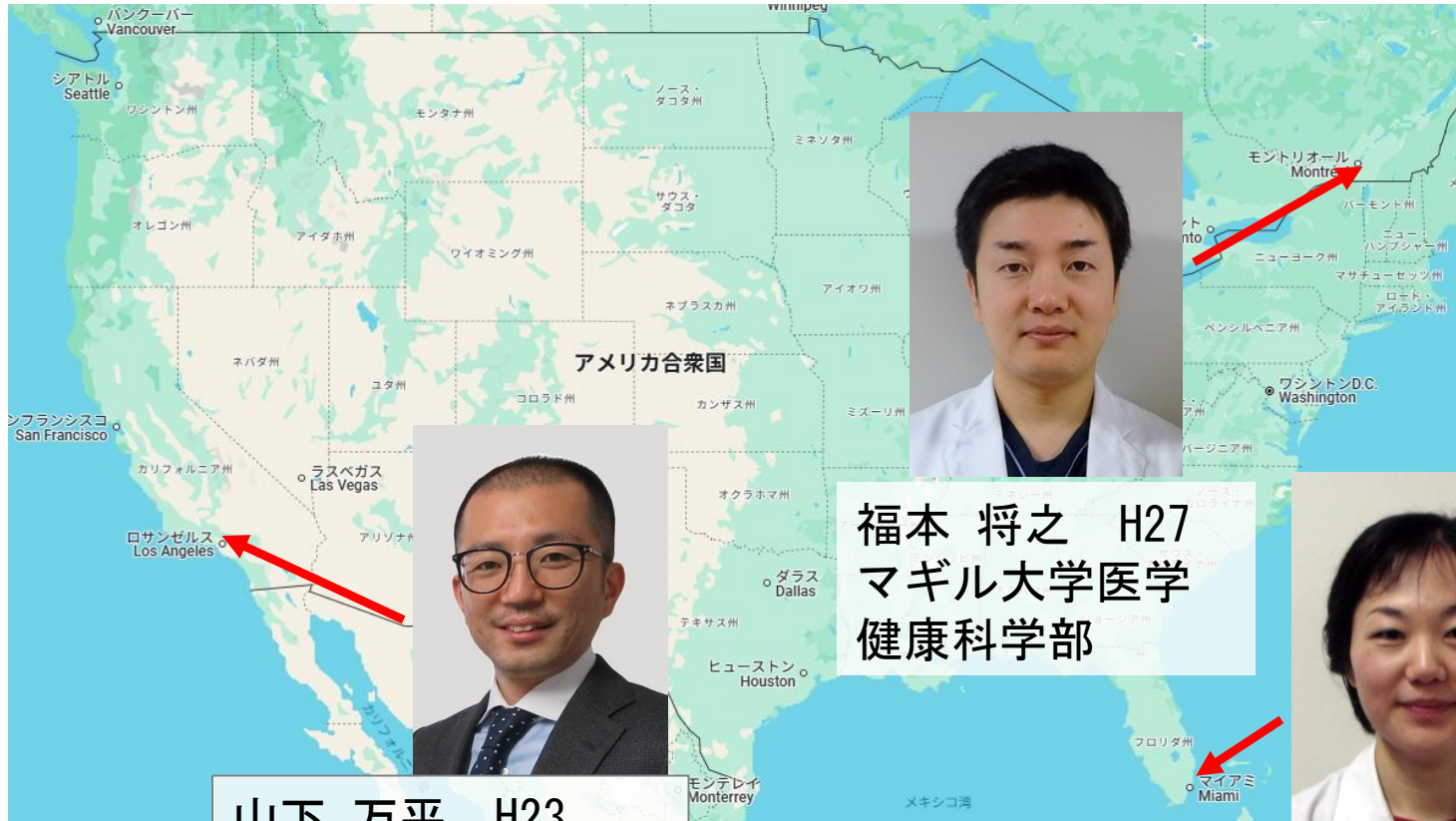


森山さん
実験室

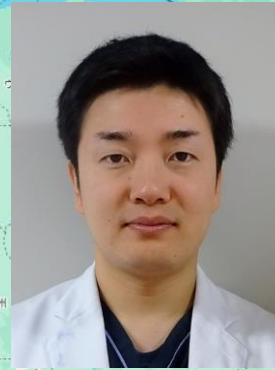


小寺さん
受付

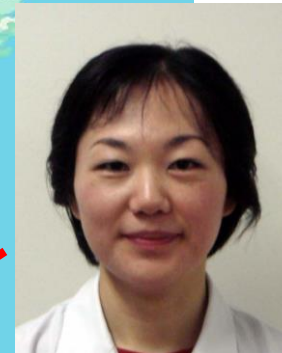
海外留学者



山下 万平 H23
カリフォルニア大学
ロサンゼルス校



福本 将之 H27
マギル大学医学
健康科学部

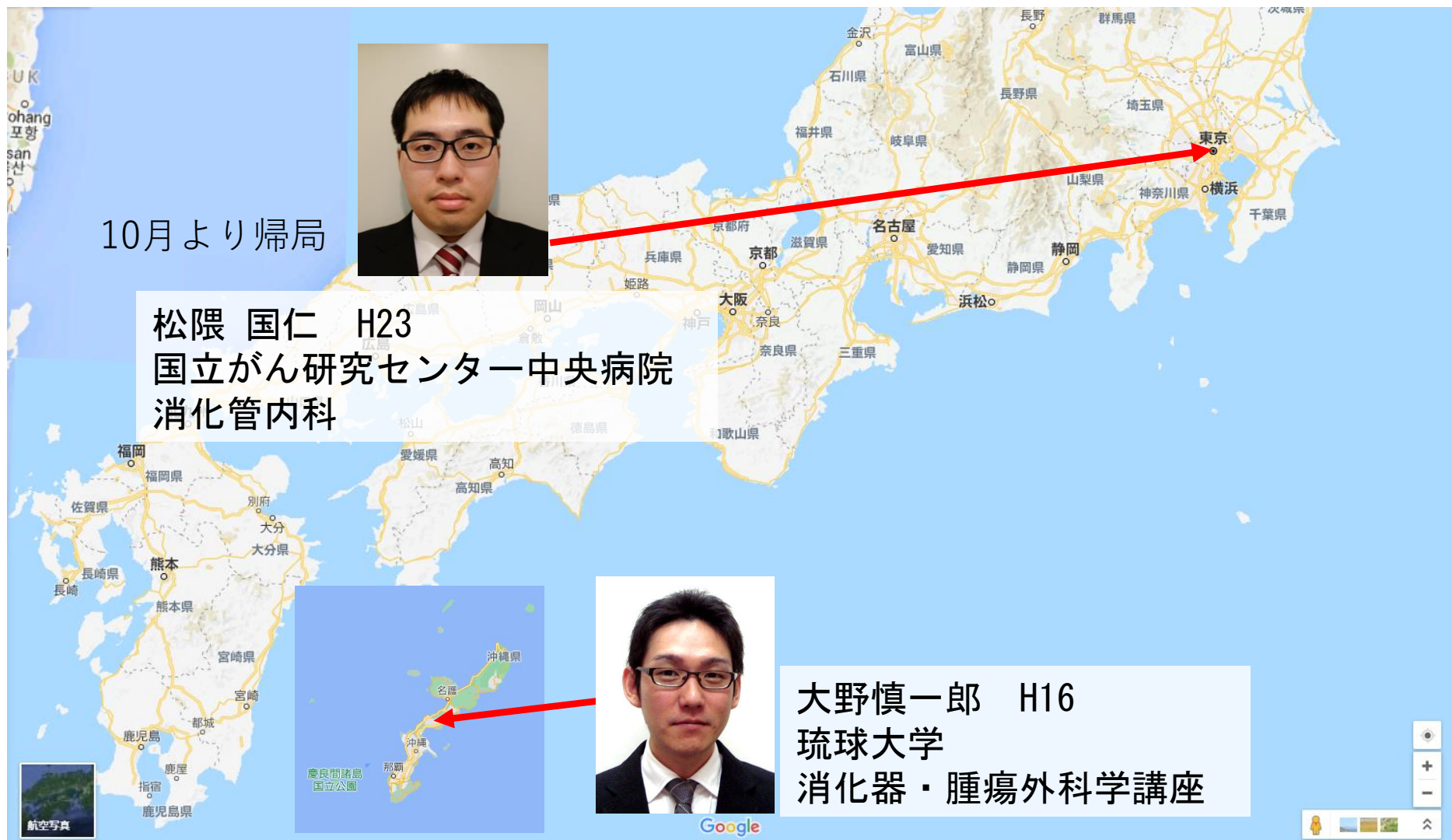


カーペンター(村岡) いづみ H17
マイアミ大学 移植ドナーCo



永川 寛徳 H23
ロッテルダム
Erasmus MC

国内留学/派遣者



(2024年1月～2024年11月)

新規専門医/指導医（学内）

日本ロボット外科学会 Robo-Doc Pilot 認定(国内B級) 小林慎一郎

da Vinci Certificate (Console Surgeon) 原 貴信

日本消化器外科学会 消化器外科専門医 三好 敬之

日本消化器外科学会 消化器外科専門医 右田 一成

日本外科学会 外科専門医 佐藤 彩香

など

(2023年1月～2023年12月)

新規専門医/指導医（学外）

da Vinci Certificate (First Assistant) 谷口 堅、釘山統太、布下裕基

da Vinci Certificate (Console Surgeon) 平原 正隆

日本消化器内視鏡学会 専門医 笠 伸大郎

日本臨床栄養代謝学会 認定医 円城寺明人

日本内視鏡外科学会 内視鏡外科技術認定医 松本 亮

日本外科学会 指導医 平原 正隆

日本消化器外科学会 消化器外科指導医 岡本 辰哉

日本乳腺甲状腺超音波医学会 甲状腺超音波ガイド下穿刺診断専門医 崎村 千香

など

※現在までに医局で把握している情報です。引き続き、新規の資格はご連絡ください。

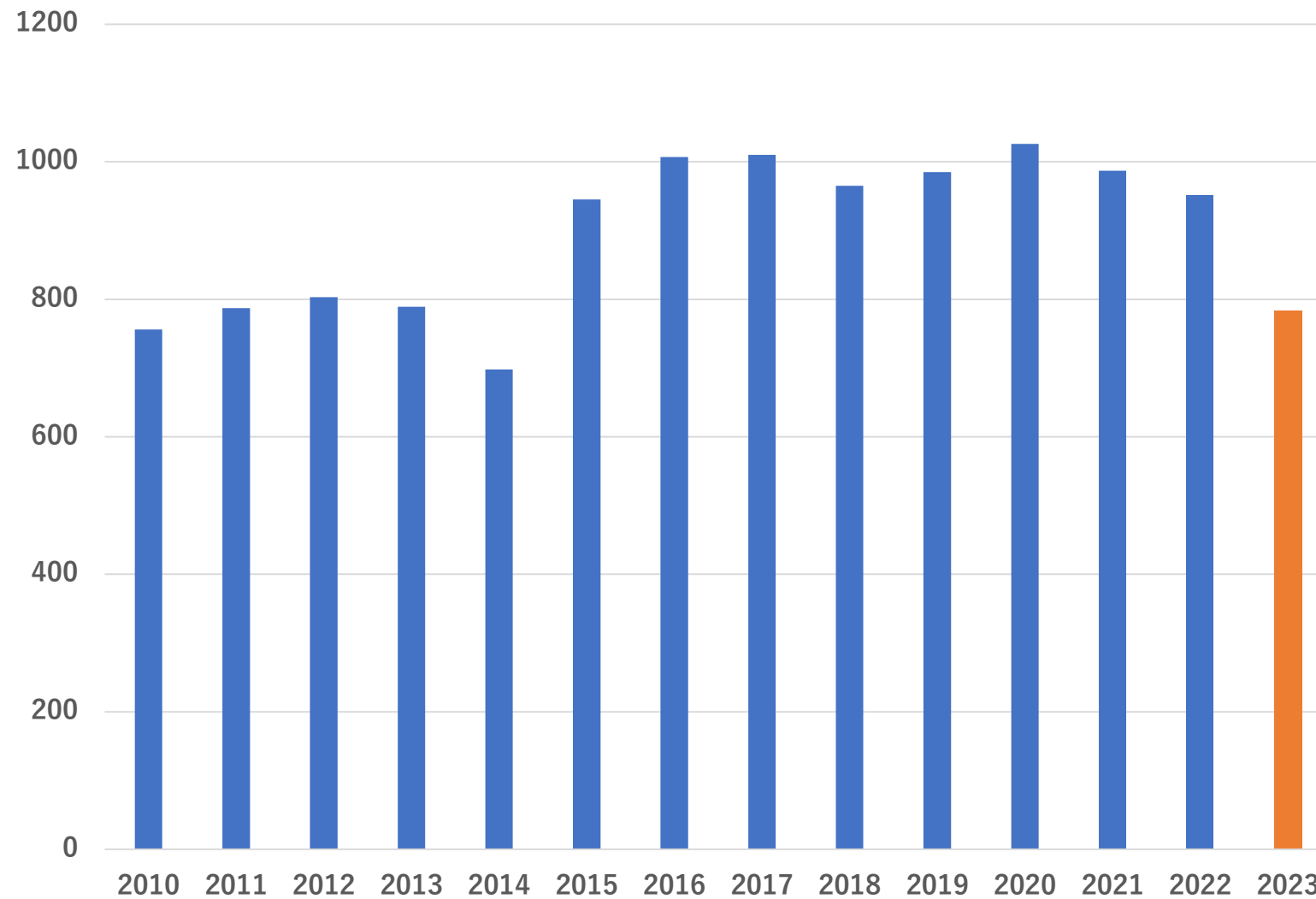
来年度外科ハブセンター所属決定者

中尾 彩乃	(長崎県島原病院)
平戸 優樹	(長崎医療センター)
宇津木 聖章	(広島共立病院)
古川 雅大	(鳥取県立中央病院)
織田 朱音	(佐世保市総合医療センター)

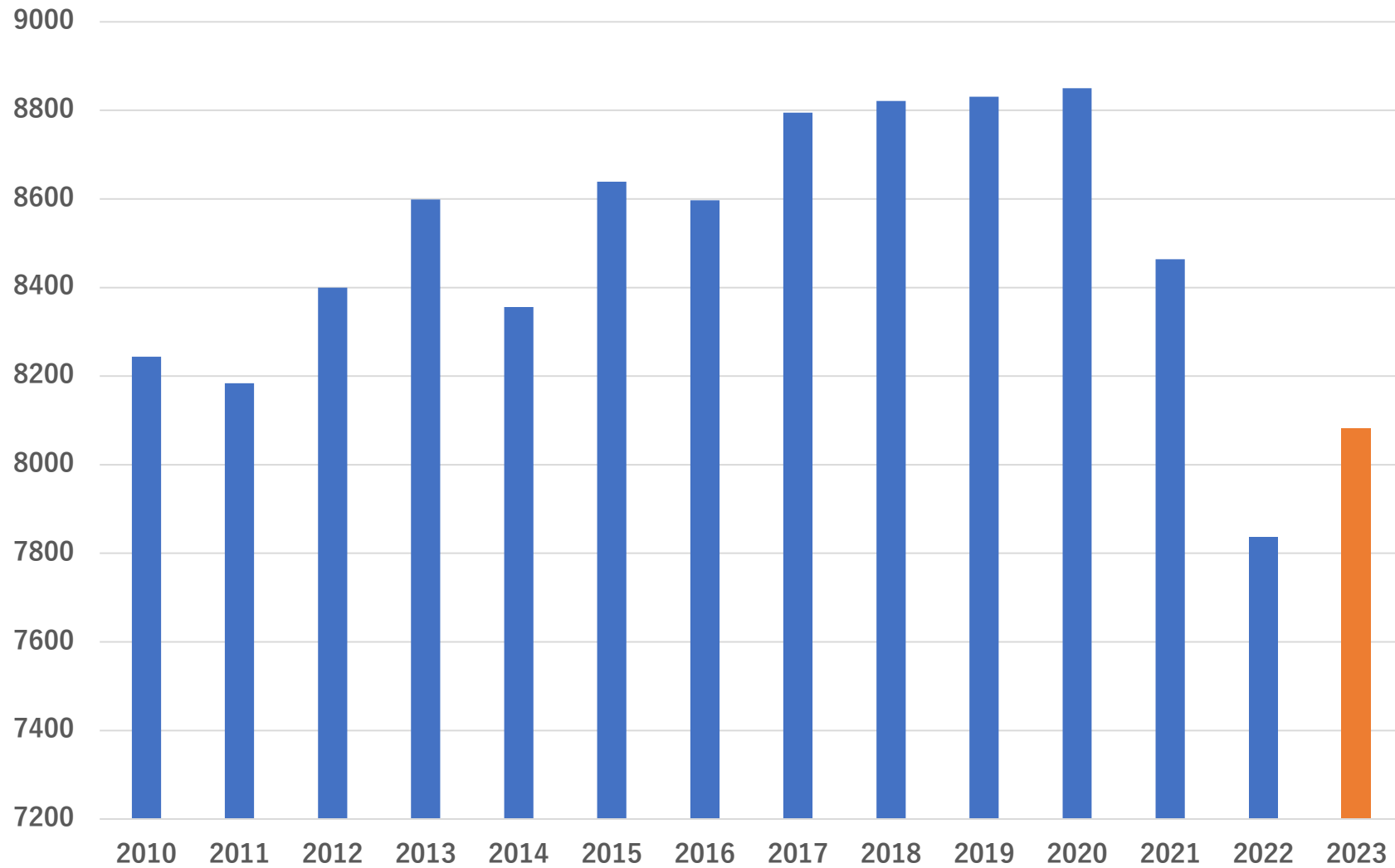
入局希望者の情報があれば、
いつでもご連絡ください。

教室の臨床 2024

当科手術総数 (長崎大学病院)

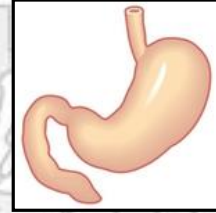
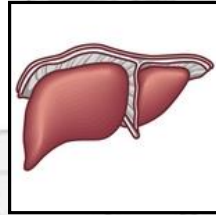


関連病院手術総数



当科におけるロボット支援下手術の導入状況

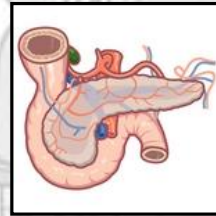
肝臓
2021年5月～58例



食道 2021年3月～46例

胃 2020年3月～79例

膵臓
2020年12月～80例



結腸 2022年11月～20例

直腸 2020年2月～104例



症例数は2024/11月時点

大学教室での臨床研究

特にこういう症例、ご紹介ください！

- 上部班 → 胃癌：PHOENIX On going 4型胃癌（大型3型で4型likeでも可）+ CY1P0
食道癌：DISCOVER試験 適応：切除可能またはT3br/T4a 進行食道癌 cStage II以上
内容：血中ctDNA検査による進行再発診断予測
- 下部班 → 直腸癌：低位直腸癌に対する放射線療法症例、下部進行直腸癌症例
結腸癌・直腸癌：遠隔転移を伴う進行大腸癌
- 肝胆膵班 → 胆管癌転移再発/FGFR2陽性症例 → 治験
膵頭十二指腸切除 → 施設認定維持
先天性胆道拡張症/ 膵胆管合流異常 → ロボット手術
肝細胞癌：脈管浸潤を伴う病変や多発病変（臨床研究 STRIDE-X）
切除可能大腸癌肝転移（Perseus試験、RCT。肝切除前後の化学療法あり）
切除不能大腸癌肝転移（先進医療Bの生体肝移植。単アーム。手術の部分だけ自費で、凡そ260万）
- 乳腺・内分泌班 → TNBC 腫瘍径2-3cm、cN1まで（response guideの非特定臨床研究）
乳癌化学療法による脱毛予防の希望がある方（治療開始前の紹介をお願いします）
- 小児班 → 小児ヘルニア疾患、小児慢性便秘、胸郭、呼吸器疾患
- 化学療法班 → 1) 進行・再発大腸癌の三次以降のライン（いわゆるサルベージライン）
2) 進行再発胃癌一次治療

今後の臨床の展開(準備状況)

- ロボット手術の適応拡大（単径ヘルニアなど）
- 腹腔鏡下ドナー肝切除の保険適応（肝外側区域）
- 脳死下小腸移植

教室の教育 2024

非常勤講師の先生方

医学部講師

大塚 隆生 教授
(鹿児島大学)



嵩下 英次郎先生
(友愛医療センター)



黒木 保 先生
(長崎医療センター)



高見 裕子 先生
(九州医療センター)



大学院講師

高槻 光寿 教授
(琉球大学)



学生教育

医学知識を伝えるのも大切だが、

「外科がどのような仕事で、

自分達はその仕事をどれだけ好きで、

それを学生達に教えるのがどれだけ楽しいか」

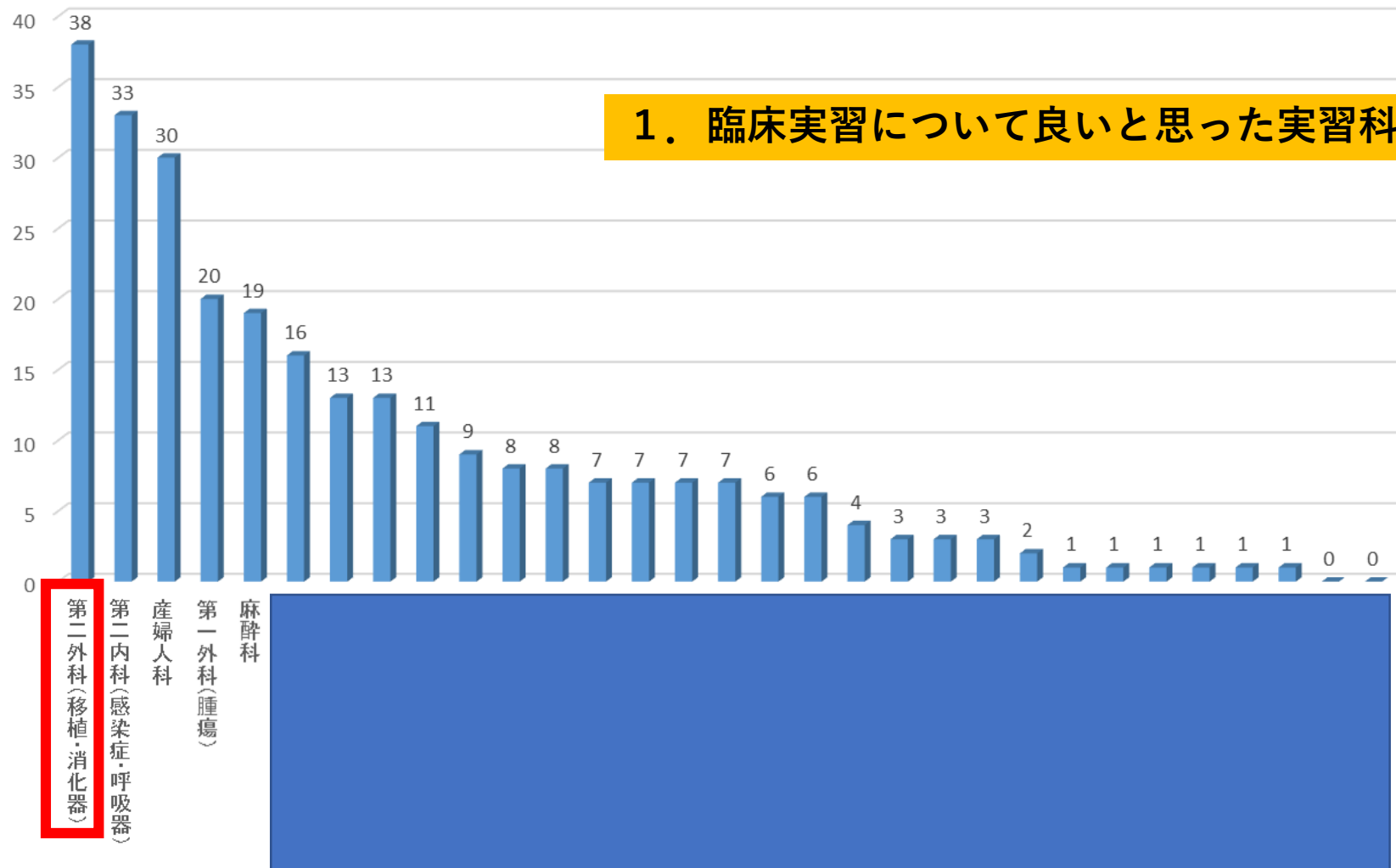
が解る様に。

臨床実習（ポリクリ, クリクラ）

アンケートで **4年連続学内No1** の評価をいただきました！

対象：2023年度5年生（ポリクリ 118名）

（アンケート実施日：2024年1月）



3. 第二外科

<良いと思う理由>

- 手技をたくさんやらせていただいた。・・・11名
- 先生方が優しく、熱心に指導していただいた。・・・4名
- 先生が熱心に教えてくださりとても良い雰囲気だった。・・・4名
- 糸結びや縫合など丁寧にやり方を指導してもらい、たくさん行えた。・・・2名
- 楽しかった。・・・2名
- アットホームで勉強しやすい雰囲気だった。
- 積極的に術野に入れる環境であり、実習に対するモチベーションが上がった。
- 親身になって教えてくれた。外科を目指すきっかけになった。
- 科全体で学生を指導しようとしている雰囲気を感じた。
- 雰囲気がとても良く、手技も色々やらせてもらえた。
- 指導体制が良い。
- 縫合などの手技ができたり、移植を見たりできた。
- 学生も医者のお子としてチームの一員として大切に指導していただき、ありがとうございました。
- シミュレーターを使って練習を多くさせてもらった。

2024 受賞



福本 将之 (H27卒)

2024 Annual Meeting of ASE
ATLAS Trainee Competition, 2nd Place



金高 賢悟 (H6卒)

長崎県科学技術大賞



三好 敬之 (H24卒)

九州・内視鏡ロボット外科 研究奨励賞



木下 綾華 (H18卒)

・第51回日本膵切研究会 優秀演題賞

李 天洋

(日中医学協会) 日中笹川医学奨学金
制度第46期研究者

Li Peilin

(日中医学協会) 日中笹川医学奨学金
制度第46期研究者

山下 万平

上原記念生命科学財団
海外留学助成金I

教室の研究 2024

学位取得者 2名

松隈 国仁 博（医歯薬）甲第1618号

授与日；2024年6月5日

タイトル：Improvement in aged liver regeneration using cell transplantation with chemically induced liver progenitors（化学的に誘導された肝前駆細胞を用いた高齢肝再生能改善に関する研究）

永川 寛徳 博（医歯薬）甲第1629号

授与日；2024年9月20日

タイトル：Serum wisteria floribunda agglutinin-positive human Mac-2 binding protein is unsuitable as a diagnostic marker of occult hepatocellular carcinoma in end-stage liver cirrhosis（潜在性肝細胞癌に対するSerum Wisteria floribunda agglutinin-positive human Mac-2 binding proteinの診断能について）



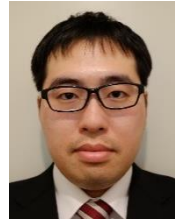
2024年度 第一回リサーチ検討会

(2024. 4. 30 @第1カンファランス室)

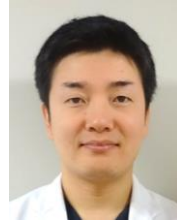
4年生



藤田 拓郎 H24

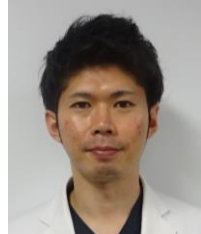


松隈 国仁 H26

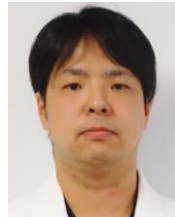


福本 将之 H27

3年生



吉野恭平H27

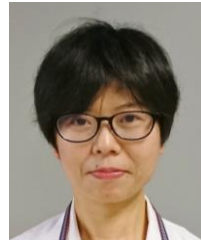


円城寺 貴浩



李 佩霖

2年生



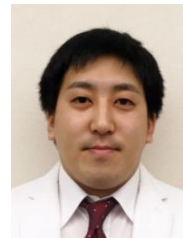
哲翁 華子



右田 一成



川口 雄太



栗寄 健



李 陸洋

1年生



佐藤 彩香



Askeyev Baglan



外部資金：文科科研

新規 4件

氏名	研究種目	研究課題
小林 慎一郎	基礎研究C	ケミカルプログラミングによる次世代消化管再建の開発
田中 貴之	基礎研究C	膵癌に対するストレス免疫応答の治療標的に関する検討
金高 賢悟	基礎研究C	短腸症候群治療を目的とした細胞シートによる新規小腸延長術式の開発
宮本 大輔	若手研究	異所性腸管細胞シートによる生体内グラフトの創製

科研費以外

新規 5件

氏名	研究補助機関	研究課題
今村 一步	輔仁会	ヒト膵島細胞における老化細胞除去が膵島機能に及ぼす影響の解明
今村 一步	日本IDDNネットワーク	リプログラミング化技術を応用した膵島移植におけるマテリアルリサイクル技術の確立
円城寺 貴浩	ライフサイエンス財団	食道癌における免疫微小環境と早期再発との関連の解明
足立 利幸	長崎県医師会	ドローンによる臓器搬送の前臨床的研究
宮本 大輔	CHODAIグラント	肝/胆複合化代謝システムによる魚細胞のマイクロプラスチック代謝メカニズムの解明

外部資金：文科科研

継 続 11件

氏名	研究種目	研究課題
原 貴信	若手研究	低分子化合物による肝前駆細胞を用いた肝加齢性変化の改善、若返り治療
小林 慎一郎	若手研究	臍帯由来間葉系幹細胞誘導筋芽細胞を用いた革新的消化器手術合併症予防法の開発
松島 肇	若手研究	マウス小腸移植モデルを用いた小腸移植後抗体関連型拒絶反応の発症機序と治療法の解明
東 美樹	若手研究	他家細胞を利用する新規再生医療開発を目指した骨格筋由来細胞の免疫応答特性の解析
右田 一成	研究活動スタート支援	高齢肝再生不全に対するSenolysisの試み
米田 晃	若手研究	消化器癌に対する遺伝子改変T細胞と多機能ヘルパーT細胞誘導ワクチン併用療法の開発
金高 賢悟	基盤研究（C）	括約筋再生のための機能的筋細胞シートの開発
田中 貴之	基盤研究（C）	神経微小環境と免疫細胞の相互作用による膵発癌・増悪の機序解明
足立 智彦	基盤研究（C）	低分子化合物によるリプログラミング技術を用いた自己非 β 膵細胞からの新規 β 細胞誘導
丸屋 安広	基盤研究（C）	抗原性を消失させたユニバーサルヒト骨格筋芽細胞のセルバンキングの構築に関する研究
曾山 明彦	基盤研究（C）	化学的誘導肝前駆細胞によるin vivoにおける胆管再構築

2024 公的プロジェクト

1. 血液製剤によるHIV/HCV重複感染患者に対する
肝移植を含めた外科治療に関する研究（**厚労科研**）
2. 肝移植における提供臓器使用率と治療成績向上を目的とした
最適な低温酸素化灌流臓器保存技術に関する研究（**AMED/スクリーン共同研究講座**）
3. 低分子化合物によるヒト肝前駆細胞(CLiP)を用いた肝硬変治療（**AMED**）
4. 肝硬変患者に対する自家CLiP細胞移植治療の開発（**AMED**）
5. 自己筋芽細胞シートによる十二指腸ESD後穿孔予防と
腹腔鏡デリバリーデバイス開発（**テルモ共同研究講座、AMED**）
6. ステロイドマウスウォッシュによる乳癌化学療法誘因性の口腔粘膜炎予防を検討する
第Ⅲ相ランダム化比較試験（**AMED**）

HIV/HCV/血友病 肝移植・外科手術 江口班員

江口 英利(大阪大学 消化器外科)
上平 朝子(大阪医療センター)
遠藤 知之(北海道大学 血液内科)
嶋村 剛(北海道大学 臓器移植医療部)
四柳 宏(東京大学 感染症分野)
八橋 弘(長崎医療センター 肝臓内科)
長谷川 潔(東京大学 肝胆膵外科)
長谷川 康(慶応大学 外科(一般・消化器))
高槻 光寿(琉球大学 消化器・腫瘍外科)
上村 悠(国立国際医療センター)

日高 匡章(島根大学 消化器・総合外科)
横尾 英樹(旭川医科大学 肝胆膵・移植外科学)
播本 憲史(九州医療センター肝胆膵外科)
稲垣 冬樹(国立国際医療研究センター病院 肝胆膵外科)
阪森 亮太郎(大阪医療センター 消化器内科)
藤井 輝久(広島大学病院 輸血部)
南 留美(九州医療センター AIDS/HIV総合治療センター)
今村 淳治(仙台医療センター 感染症内科)
今橋 真弓(名古屋医療センター 臨床研究センター)
宮明 寿光(長崎大学大学院 消化器内科)
曾山 明彦(長崎大学大学院 移植・消化器外科)

血友病患者の肝移植成功

長崎大学病院 世界初の術式で

長崎大学病院(長崎市)は25日、血友病患者に肝臓の一部である「右後区域」だけを移植する手術を実施したと公表した。患者と臓器提供者(ドナー)はいずれも既に退院した。血友病患者への肝移植で、右後区域だけの移植に成功したのは世界で初めて。同病院は従来よりドナーの負担が軽減され、血友病患者が治療の選択肢として肝移植を選びやすくなるとしている。

血友病は血を固める「血液凝固因子」が不足、欠乏している病気。一度出血すると止血に長い時間がかかり、急激な大量出血で貧血や失血性ショックを起こす恐れがある。肝移植は手術の中でも切開の範囲が広く、大量出血のリスクが高いため、血友病患者の場合、今回の手術は2月28日、は特に難しいとされる。

肝臓がんを患った60代男性に、30代ドナーの肝臓の一部を移植した。従来、血友病患者への肝移植は肝臓の右葉か左葉のいずれか全部が選択肢だったが、今回は右葉外側部分の右後区域だけを移植。これにより、ドナー側に全体の6割以上の肝臓を残すことができた。手術中の血液凝固の評価・管理に、同病院麻酔科の原哲也教授の研究成果を採用した。患者は手術後47日目、ドナーは手術から80日目に退院し、既に社会復帰した。(六倉大輔)

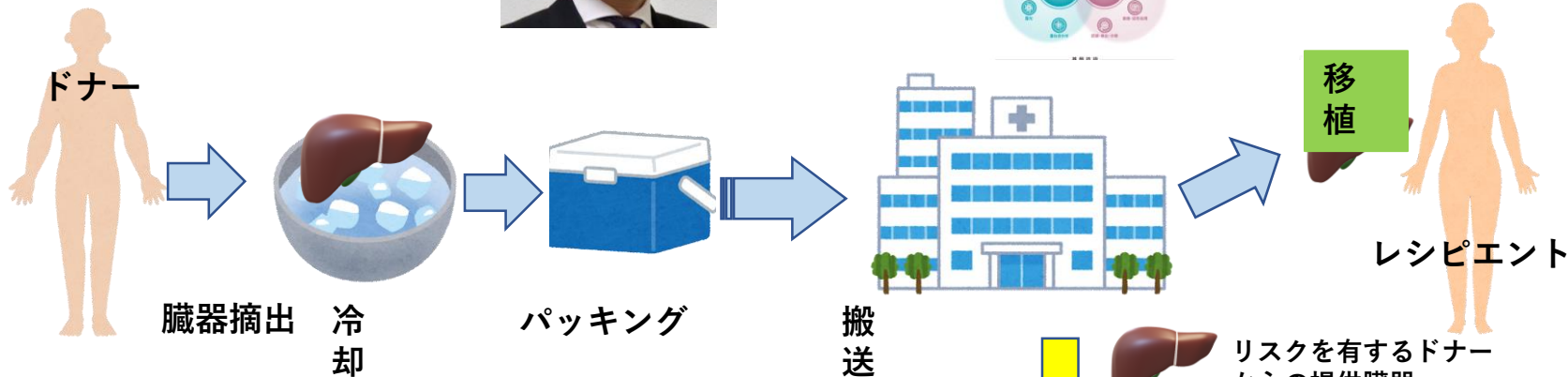


肝臓のイメージ図
右後区域
左葉 30～40%
右葉 60～70%

体外機械還流法によるグラフト機能評価・改善

曾山明彦 准教授 (h12)

(株)SCREEN



グラフト機能不全の リスクファクター

長時間保存例

脂肪肝

高齢ドナー

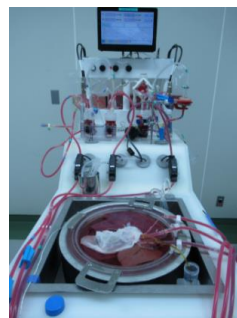
心停止ドナー

(本邦 現在実施なし)

リスクファクターを有する
ドナーからの移植の際、
移植前の機械還流による
機能評価・改善を目指した研究
が行われている。

- 欧米では臨床応用あり
- 本邦の現状にあった機器・システム開発が必要

Machine Perfusion



機械還流し、
機能確認

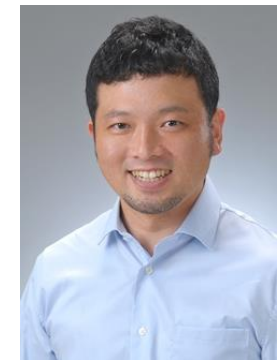
移植実施率、
移植治療成績の向上

レシピエント

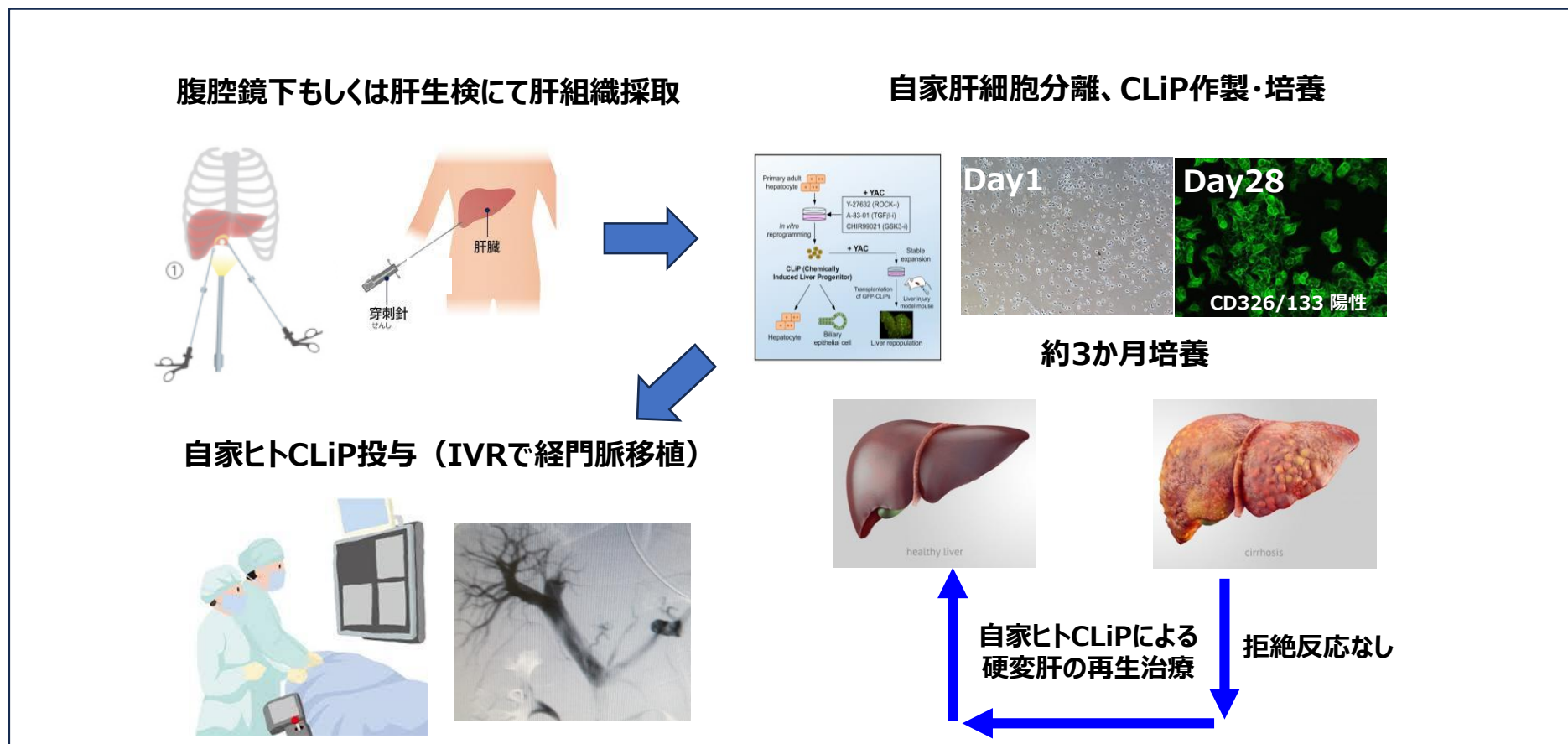
移植



肝硬変患者に対する 自家CLiP細胞移植治療の開発



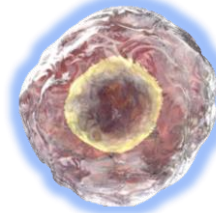
宮本大輔 (PhD)



慢性肝障害（B/C/NASH/アルコール）由来肝硬変に対する臨床研究を2025年以降で計画

慢性肝障害だけではなく、慢性胆道炎症疾患(PSCなど)にも効果が？

足立智彦准教授
(H12)



CLiP

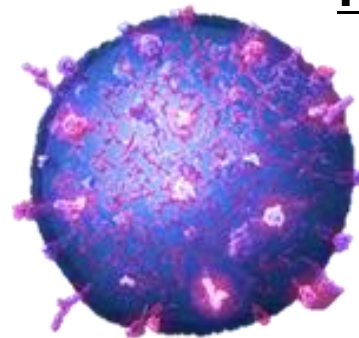
CLiPの胆道系細胞への分化能力

Biotechnol Bioeng. 2021
J Biosci Bioeng. 2020
Stem Cells Int. 2019
江口、足立ら（長崎大学）



CLiPのパラクライン効果(エクソソームなど)

PSC等の病態制御に有効な成分



- ・抗炎症作用
- ・免疫制御作用
- ・抗ウイルス・抗バクテリア作用
- ・胆管上皮増殖促進作用
- ・組織修復作用

本年度より基礎研究スタート

自己筋芽細胞シートによる十二指腸ESD後 穿孔予防とデリバリーデバイス開発



長崎大学・消化器外科

金高賢悟 (研究開発代表者)

江口 晋 (研究開発分担者)



医師主導治験の申請・実施

共同研究講座



治験薬の製造



九州大学

堺 裕輔 (研究開発分担者)

デバイスの生物学的安全性試験



大阪大学

宮川 繁 (研究開発分担者)

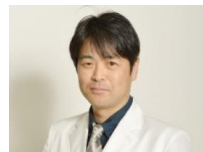
嶽北和宏 (研究開発分担者)

治験プロトコル策定
・薬事戦略アドバイザー

腹腔鏡下手術

内視鏡的治療

治 験



長崎大学・消化器内科

中尾一彦 (研究開発分担)

医師主導治験の申請・実施



長崎大学・臨床研究センター

山本弘史 (研究開発協力者)

佐藤俊太郎 (研究開発協力者)

モニタリング・統計解析・データマネ
ジメント

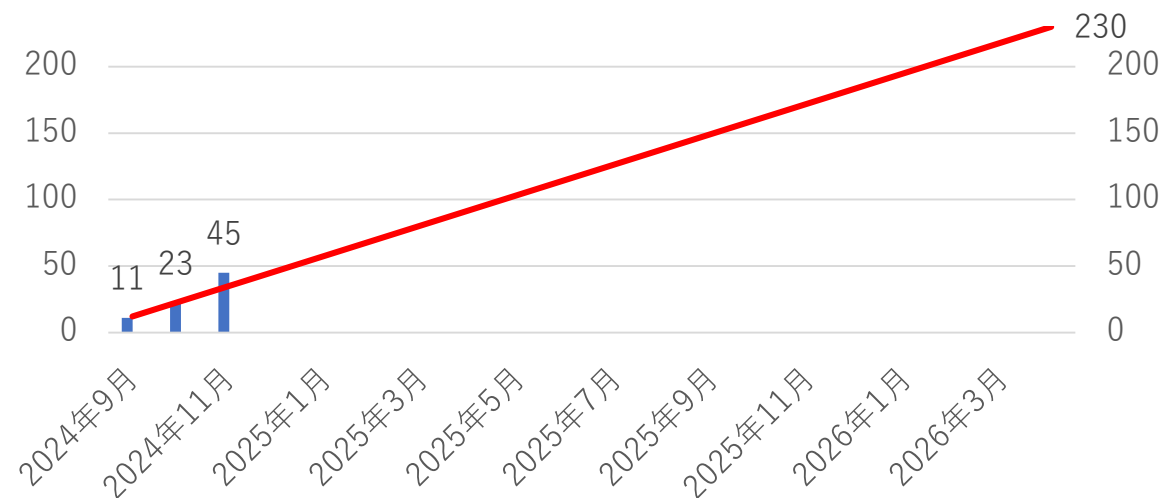




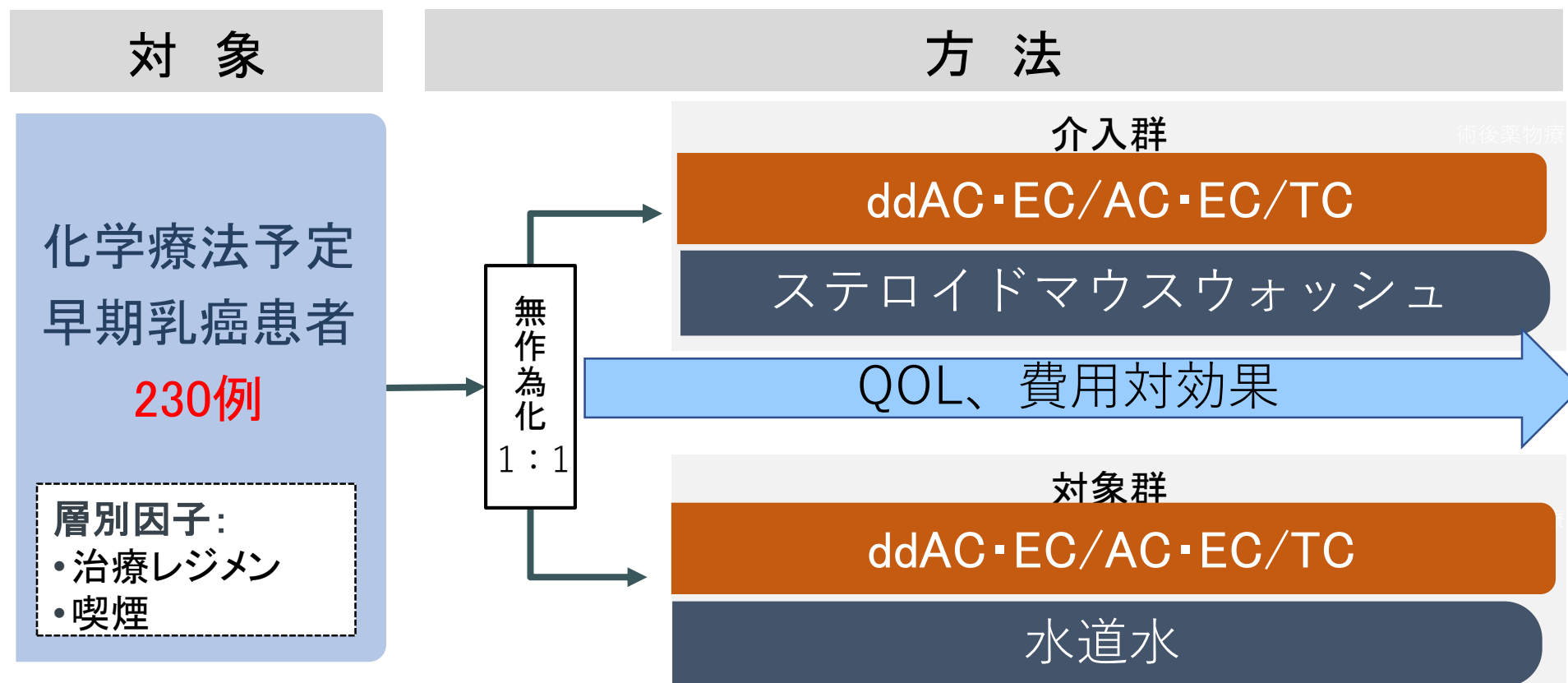
ステロイドマウスウォッシュによる 乳癌化学療法誘因性の口腔粘膜炎予防を検討する 第Ⅲ相ランダム化比較試験 Steroid Mouthwash for the Prevention of Oral Mucositis in Breast Cancer Chemotherapy (SMASH-BC)

【領域5-3】科学的根拠に基づくがんの支持療法・緩和ケアの開発に関する研究

研究開発課題名	研究開発代表者	所属	役職名
ステロイドマウスウォッシュによる乳癌化学療法誘因性の口腔粘膜炎予防を検討する第Ⅲ相ランダム化比較試験	久芳 さやか	長崎大学	講師
頭頸部悪性腫瘍切除・遊離組織移植術の手術前ステロイド投与の有効性を検証する多施設共同プラセボ対照二重盲検無作為化第Ⅲ相比較試験	松浦 一登	国立がん研究センター	科長
高齢がん患者の術後せん妄予防に対する標準治療の開発（ラメルテオンの有効性と安全性に関する多施設共同二重盲検プラセボ対照ランダム化比較試験）	松岡 弘道	国立がん研究センター	科長



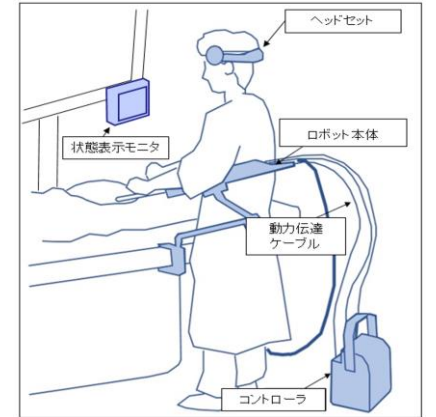
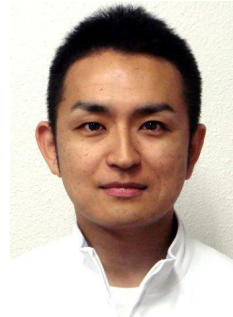
SMASH-BC 研究概要



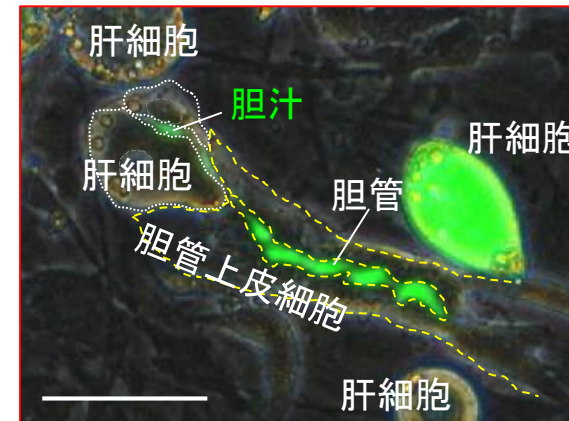
研究期間: ~2027年3月31日まで
症例登録: ~ 2026年4月30日まで

その他のプロジェクト

- 内視鏡手術支援ロボット開発（中央大学と共同研究）

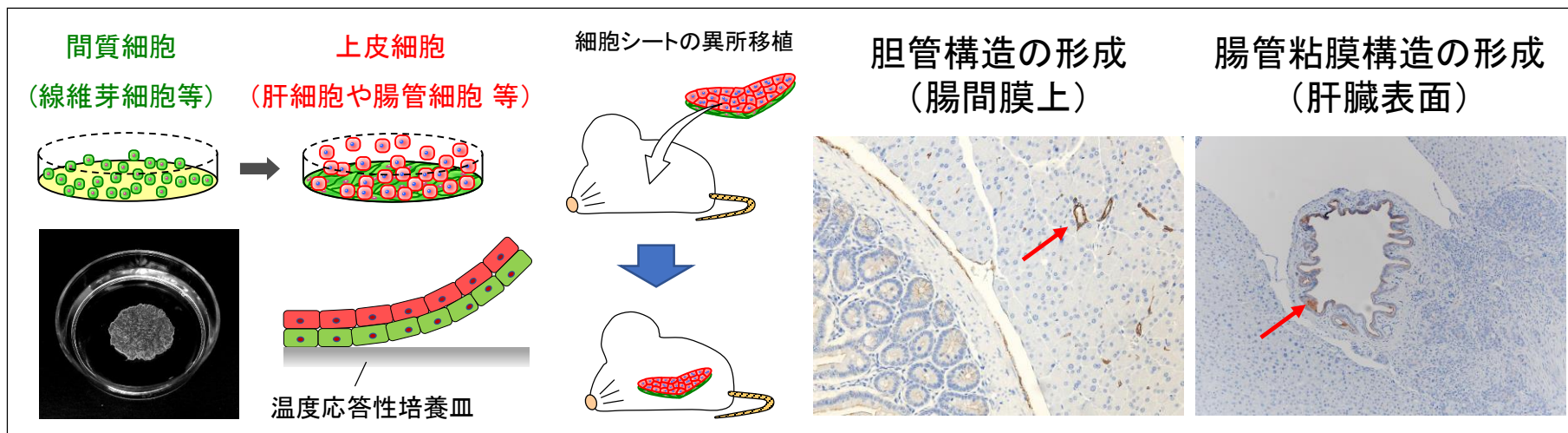


- Clipを用いたin vitroモデルでの薬剤代謝の研究（エーザイと共同研究）



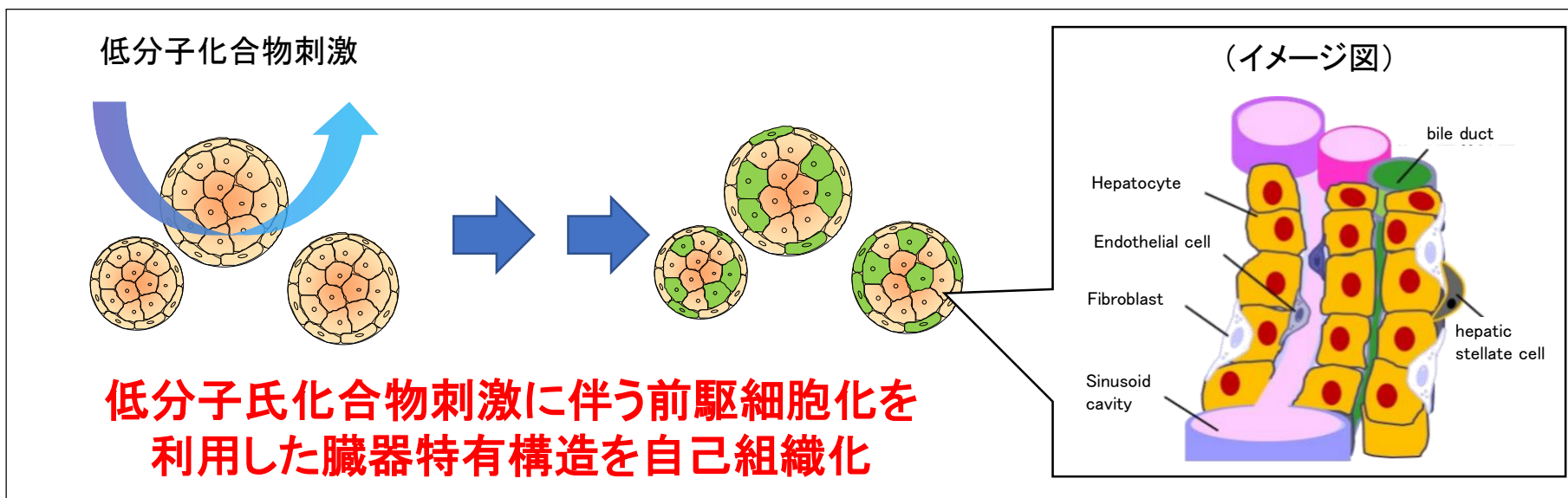
細胞移植治療の実現に向けた組織工学技術の開発

重層化細胞シートの異所移植による生体内グラフト形成



PhD 宮本大輔

低分子化合物刺激を利用した独自のオルガノイド形成





PhD 東 美紀

消化器再生医療学講座

2024年の御報告(東)



◆自己(自家)筋芽細胞シートを用いた消化器再生医療

- ・表在性非乳頭部十二指腸上皮性腫瘍に対する腹腔鏡内視鏡合同手術における TERGS0001の探索的治験。 治験総括報告書の完成

➤ 論文掲載 (Kanetaka K, Maruya Y, Higashi M et al. Stem Cell Res Ther. 2024)

◆同種(他家)筋芽細胞シート開発に向けた基盤技術の展開

- ・筋芽細胞または筋芽細胞シートにおける免疫応答の解析
 - ・酢酸胃潰瘍モデルラットへの同種(他家)筋芽細胞シート貼付実験
- 国際幹細胞学会シンガポール国際シンポジウム発表予定

➤ 特許出願4件を準備中

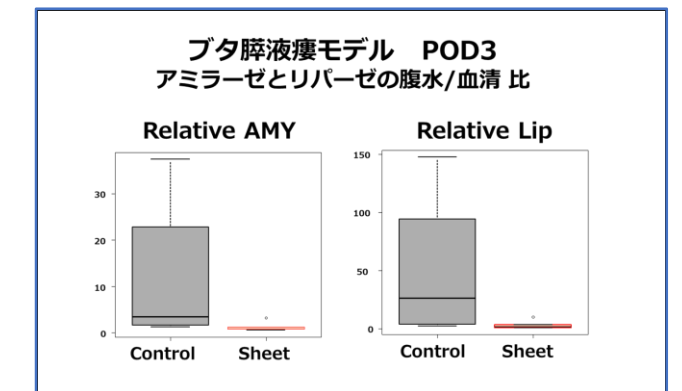
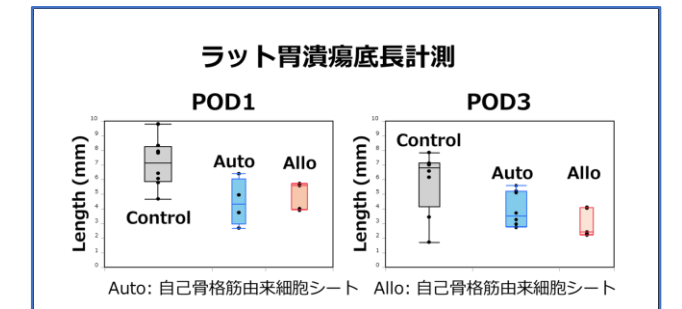
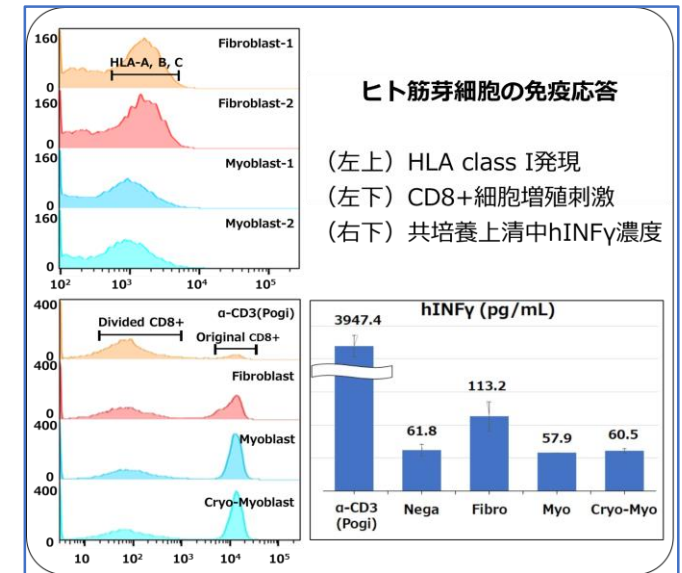
- ・ヒト組織と細胞の輸送試験

➤ 症例22, 23, 24を実施

◆消化器領域の適応疾患の拡大

- ・ブタ腓液瘻モデルへの自己(自家)筋芽細胞シート貼付実験

➤ 特許出願済み2件の中間対応中

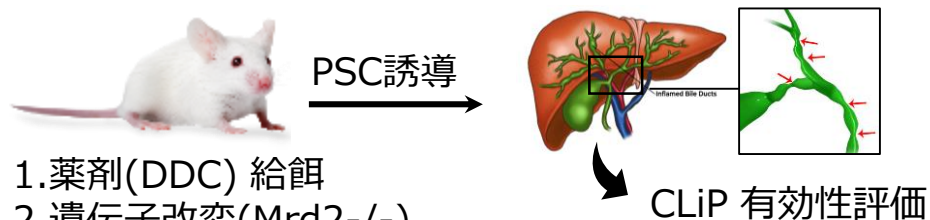




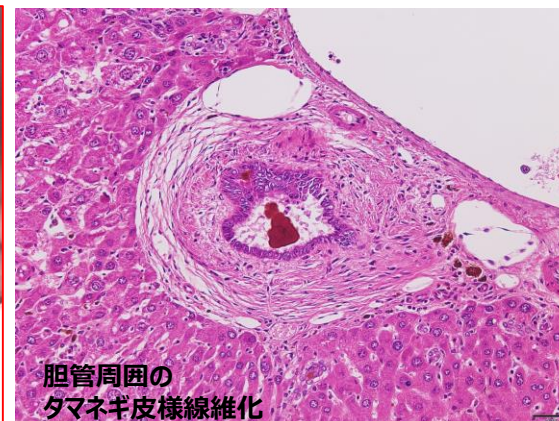
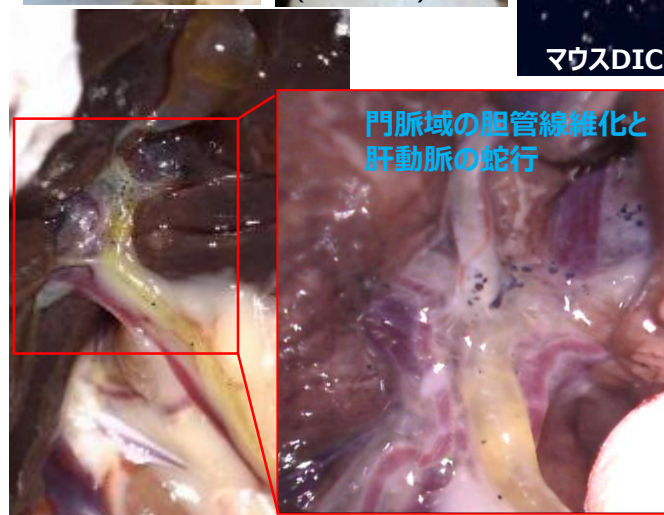
PhD 長谷川佳代

PSCモデル動物の作成

低分子化合物誘導肝前駆細胞(CLiP)による希少難治性肝・胆道疾患に対する画期的再生医療の探索研究(AMED課題 足立班)

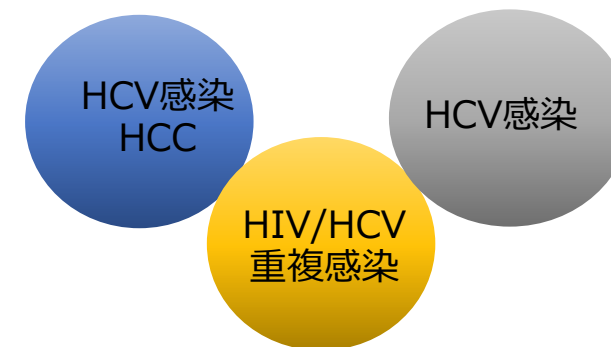


- 1.薬剤(DDC) 給餌
- 2.遺伝子改変(Mrd2-/-)
- 3.肝動脈結紮/胆管虚血術

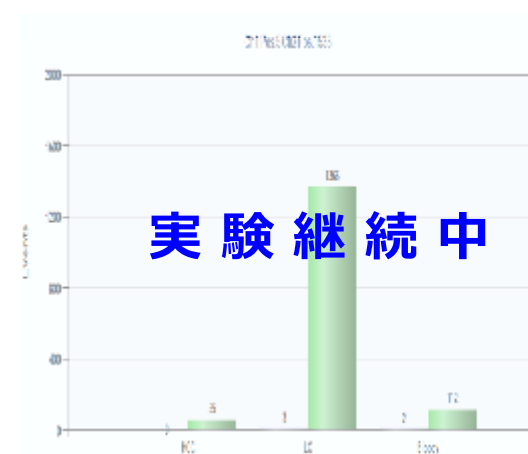


HIV/HCV重複感染 発がんリスクの検討

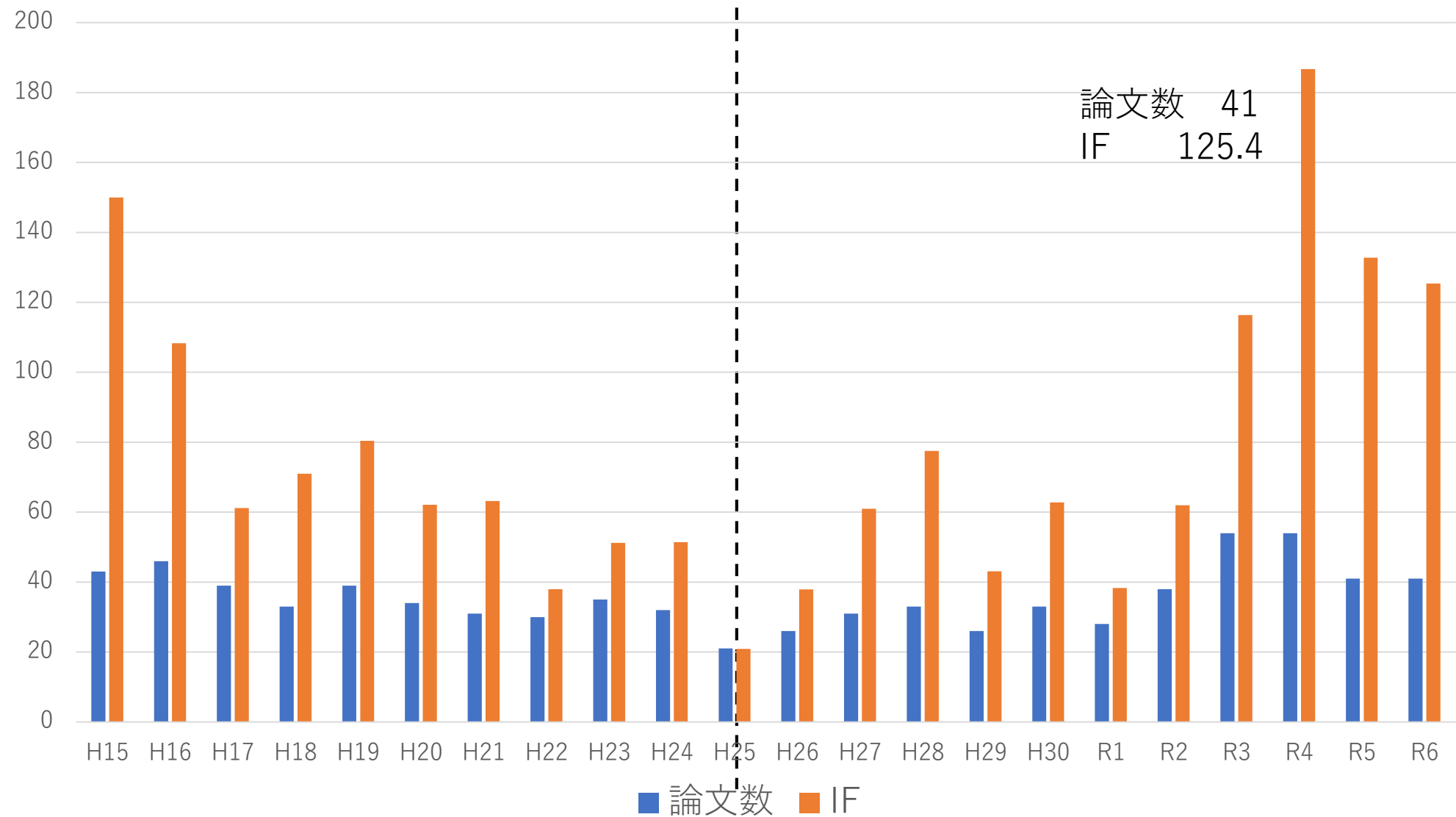
厚生労働行政推進調査事業費補助金エイズ対策政策研究事業「血液製剤によるHIV/HCV重複感染患者に対する外科治療の標準化に関する研究」(江口班)



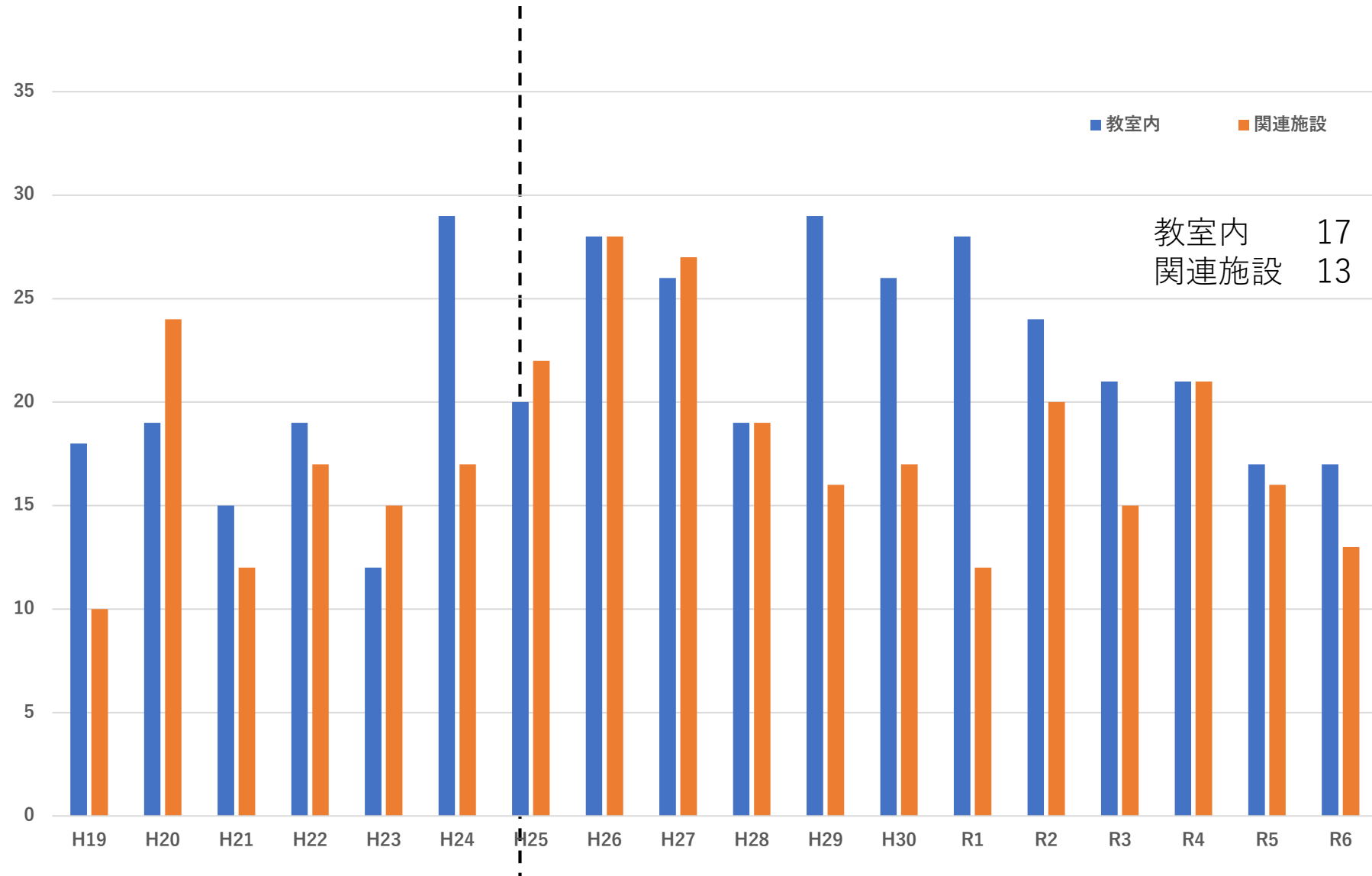
がん関連遺伝子発現による発癌リスクの比較



論文数（英文）とIFの推移



日本外科学会 発表演題数



特許

取得済み

登録番号: 特許第7284985号 登録日: 2023年5月24日

発明の名称: 肝前駆細胞を含む細胞集団を製造する方法

発明者: 堺 裕輔, 江口 晋

登録番号: 特許第7370007号 登録日: 2023年10月19日

発明の名称: 内視鏡操作支援システム及び内視鏡システム

発明者: 小坂太一郎, 江口 晋, 足立智彦, 諸麥俊司

登録番号: 特許第6235121号 登録日: 2017年11月2日

発明の名称: 外科手術用糸輸送器

発明者: 江口 晋, 黒木 保, 小坂太一郎, 石松隆和, 諸麥俊司

登録番号: 特許第7376510号 登録日: 2023年10月30日

発明の名称: シート状物貼付デバイス

発明者: 堺 裕輔, 江口 晋, 丸屋安広, 大橋文哉, 鮫島 正

登録番号: 特許第7483233号 登録日: 2024年5月7日

発明の名称: 培養組織及びその製造方法

発明者: 堺 裕輔, 江口 晋, 足立智彦, 黄 宇, 新京 楽, 相良沙希, 小野里太智

出願中

出願番号: 特願2018-175557 出願日: 2018年9月20日

発明の名称: シート状物貼付デバイス

発明者: 山本郁夫, 江口 晋, 金高賢悟, 丸屋安広, 小林慎一郎ら

出願番号: 特願2019-23584 出願日: 2019年2月13日

発明の名称: 切除器具

発明者: 江口 晋, 日高匡章, 小坂太一郎, 佐藤 洋, 諸麥俊司

出願番号: 特願2019-066417 出願日: 2019年3月29日

発明の名称: 培養組織及びその製造方法

発明者: 堺 裕輔, 江口 晋, 足立智彦, 黄 宇

出願番号: 特願2020-010071 出願日: 2020年1月24日

発明の名称: 臓器の表面への貼付けのための生着シート状物

発明者: 丸屋安広, 山口 峻, 金高賢悟, 東 美樹, 江口 晋ら

出願番号: PCT/JP2021/002375 出願日: 2021年1月25日

発明の名称: 臓器の表面への貼付けのための生着シート状物

発明者: 丸屋安広, 山口 峻, 金高賢悟, 東 美樹, 江口 晋ら

出願番号: 特願2021-018360 出願日: 2021年2月8日

発明の名称: 肝臓表面に移植するための細胞シート

発明者: 江口 晋, 日高匡章

出願番号: 特願2021-018430 出願日: 2021年2月8日

発明の名称: 膵臓の切断面を覆うためのシート状細胞培養物

発明者: 丸屋安広, 山口 峻, 金高賢悟, 江口 晋, 東 美樹, 大橋文哉, 甲斐美穂, 荒巻直希

出願番号: 特願2021-132394 出願日: 2021年8月16日

発明の名称: 嚢胞様構造を有する三次元肝細胞培養物およびその製造方法

発明者: 宮本大輔, 江口晋, 足立智彦, 日高匡章

出願番号: PCT/JP2022/030772 出願日: 2022年8月12日

発明の名称: 嚢胞様構造を有する三次元肝細胞培養物およびその製造方法

発明者: 宮本大輔, 江口晋, 足立智彦, 日高匡章

出願番号: 特願2018-14097 出願日: 2018年7月27日

発明の名称: 消化管再生のためのシート状細胞培養物

発明者: 丸屋安広, 松本 亮, 小林慎一郎, 金高賢悟, 江口 晋, 大仁田 賢, 橋口 慶一, 大橋文哉, 松村匡記

教室の社会貢献・国際交流 2024

主催学会・研究会

第60回日本移植学会総会

(9月12日～14日 出島メッセ長崎) 約1800名参加



The 60th Annual Congress of the Japan Society for Transplantation

第60回 日本移植学会総会

2024年9月12日[木]～14日[土] 出島メッセ長崎 長崎県長崎市尾上町4番1号

会長 江口 晋 長崎大学大学院 移植・消化器外科学 幹事 田崎 修 長崎大学病院 高度救命救急センター

事務局 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 移植・消化器外科学 〒852-8501 長崎県長崎市尾上町4番1号 TEL: 095-619-7316
運営事務局 日本コンベンションサービス株式会社 九州支社 〒810-0802 福岡県福岡市中央区西中洲12-33 福岡大洲生命ビル57階 TEL: 092-712-6201 (平日9:30～17:30)



主催学会・研究会

第60回日本移植学会総会
(9月12日～14日 出島メッセ長崎)



JST 60 第60回日本移植学会総会
市民公開講座

移植ってなに?

意思表示へ 一歩ふみだす



ゲスト 大久保 波留氏 (DXTEEN)
昨年5月にデビューした6人組グローバルボーイズグループDXTEENのメンバー。昨年開催された音楽アワード「MTV VMAJ 2023」では「ダンス＆ボーカルグループ」のシーンの中で最優秀賞が贈られる新人アーティストに贈られる特別賞「Upcoming Dance & Vocal Group」を受賞。今年リリースした3RD SINGLE「Snowin」はオリコンウィークリーランキング1位を獲得。



ゲスト 草野 航大氏
1992年生。東京都出身。青山学院大学在学中より、ファッション誌「FINEBOYS」の専属モデルとしてデビュー。その後、舞台、映画、広告の分野で活躍。現在放送中TBS「ブラックペアン2」レギュラー出演中のほか、CM 明治「Dear Milk」にも出演。いませ 美脚とカワフェロに出演。

日時 2024年9月12日 木
18:10～19:10

会場 出島メッセ長崎 2階
コンベンションホール2-3

参加費 無料
[先着300名]

事前登録制
申込はこちら





zlyas

ブラックジャックセミナー (7月28日 長崎大学病院)



海外からの留学生・研修生

中国



李 佩霖
(2021/10～
2024/9大学院)
広州第一人民病院



李 陸洋
(2022/4～大学院)
山東省済南市章丘医
人民総合病院



李 天洋
(2022/4～大学院)
広州第一人民病院

カザフスタン



Baglan Askeyev
(2023/10～大学院)

ブラジル(原爆医療研修)



HENRY RYOITI NAMISE
(2024/1/25-1/31)



ALLISON TAKEO TSUGE
(2024/1/25-1/31)

ボリビア(JICA国別研修)



VILLEGAS CRUZ David
Eduardo (2024/5/20-
10/10)



BLANCO FERNANDEZ
Elving Yerko (2024/5/20-
10/10)

JICA ボリビア研修プロジェクト 「消化器疾患4次病院高度専門医育成」事業



今後の学会主催予定

2026年 第38回 日本腸管リハビリテーション・小腸移植研究会



日本腸管リハビリテーション・小腸移植研究会
The Japan Intestinal Rehabilitation and Transplant Association

📧 お問い合わせ



2027年 九州代謝・栄養研究会

九州代謝・栄養研究会

Kyushu Society for Metabolism and Nutrition



代謝・栄養学は診療の基本です。
内科と外科などに拘わらず、すべての医療者の参加をお待ちしています。

今後の学会主催予定

2027年 第82回 日本消化器外科学会総会



理事選任結果	監事選任結果
池上 徹 江口 晋 五井 孝憲 齋浦 明夫 瀧口 修司 竹内 裕也 野村 幸世 比企 直樹 水島 恒和 (五十音順・敬称略)	永野 浩昭 袴田 健一 (五十音順・敬称略)
	会長選任結果
	第82回総会会長 江口 晋 第25回大会会長 五井 孝憲 (敬称略)

その他

当科における働き方改革 -実践中-

① チーム制による複数主治医制を実践中

上部・下部・肝胆膵(A/B)・乳腺・小児・化学療法の7チーム制

→各医師間の情報共有と土日・休日の当番制を確立

②勤務時間内に業務を設定(カンファ、手術開始時間の変更)

→ワークライフバランスに寄与

2019年10月より					2020年4月より				
月	火	水	木	金	月	火	水	木	金
7:30			抄読会		8:30			抄読会	
8:00	術前/術後カンファ		回診前カンファ		8:30	術前カンファ		抄読会 入院・合併症例カンファ	MMカンファ
9:30			回診		9:30			回診	術後カンファ
10:00	手術	手術	手術		10:30	手術	手術		
	外来検査 外勤		外来検査 外勤			外来検査 外勤		外来検査 外勤	学会予行/手術
17:30	臨床ミーティング (学会予行)	MMカンファ (学会予行)	学会予行 (学会予行)	学会予行 (学会予行)	17:30				

当科における働き方改革 -実践中-

③医局内ラボさん、医療事務作業補助者の積極的な採用

→事務業務のタスクシフトにより業務分散、負担軽減

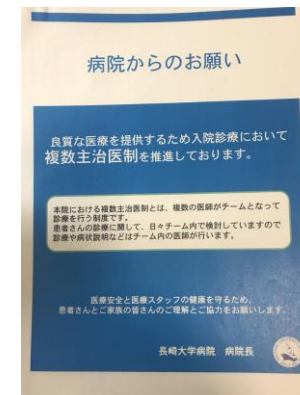
④Robot Processing Automationによる定期的なイベントの自動リマインド設定

→手術入力日、体調管理入力、抄読会の順番通知を自動リマインドメール

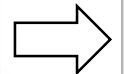
→業務・スケジュール管理が容易に

⑤病院から患者・家族への業務・医療体制の周知徹底

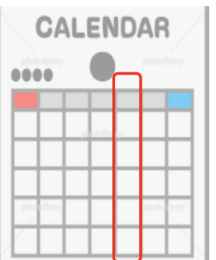
→複数主治医制や病状説明の時間内実施を推進



定期的なイベントを
全体へメールする

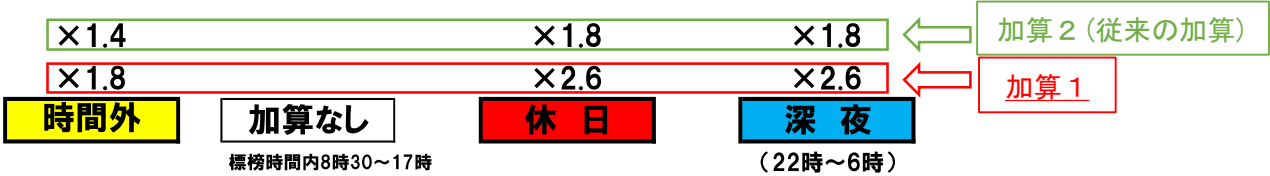


決まった曜日に
リマインドする



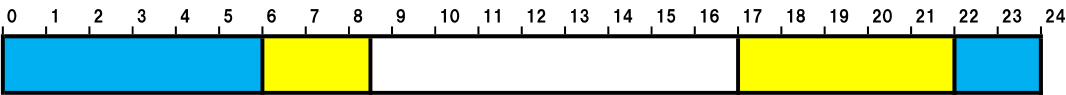
当科における働き方改革 -休日・深夜・時間外加算1の導入-

手術における時間外等加算の算定可能な時間帯

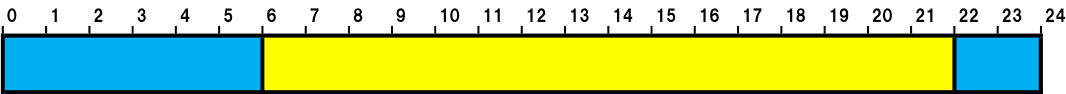


手術開始時間が加算の時間内(青・黄色・赤)に含まれる必要がある。

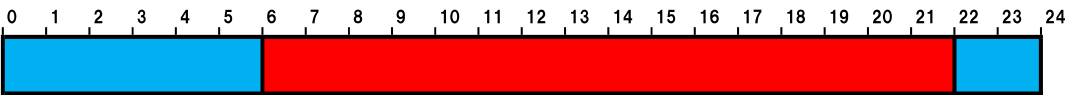
月曜日～金曜日



土曜日



日曜日・祝日・12/29～1/3



2023年4月1日より
算定中

Diversity, Equity and Inclusion



最近の生体肝移植レシピエント手術



ホームページをリニューアルしました。



｜ クリクラコラージュ総選挙2023

[結果はこちら](#)

｜ クリクラコラージュ2024

[第1チーム](#) / [第2チーム](#) / [第3チーム](#) / [第4チーム](#) / [第5チーム](#) / [第6チーム](#)

医局行事

[一覧はこちら](#)

2024/10/24 ATLAS Trainee Competition, 2nd Placeを受賞されました！（福本 将之）

2024/10/21 JICA協力事業 ボリビア国別研修の技術研修期間が終了しました。

2024/10/02 学位を取得しました！！（松隈 国仁）

2024/09/27 医局野球を行いました！！（第二回戦）

2024/09/17 第60回日本移植学会総会 長崎新ビースタジアムツアー！

学会発表情報

[一覧はこちら](#)

2024/10/30 《学会報告》PSJM・第43回日本小児内視鏡外科・手術手技研究会（藤田 拓郎）

2024/10/28 《学会報告》TTS2024（藤田 拓郎）

2024/10/28 《学会報告》American College of Surgeon（ACS）2024（今村 一步）

2024/10/24 九州・内視鏡ロボット外科 研究奨励賞を受賞されました！（三好 敬之）

2024/10/24 《学会報告》American College of Surgeon（ACS）2024（小林 慎一郎）

ななていふむちのり

〒252-0292 神奈川県横浜市磯子区磯子4-1-1 日本消化器外科学会長崎支部

ご寄稿お願い致します

鐘韻フォトギャラリー



鐘韻フォトギャラリー



足立利幸先生 (平成23年卒)



『はじめての風揚げ』

井上悠介先生 (平成16年卒)



『若手外科医で手術トレーニング!』

岸川博紀先生 (昭和50年卒)



『鯨が帰ってきた』

福本将之先生 (平成27年卒)



『9月の高浜(五島)と娘(3歳)』

江口 晋先生 (平成4年卒)



『眼鏡橋とアジサイ』

草野舞子 (事務補佐員)



『森保監督』

森保監督に遭遇し写真を撮ってもらいました!
気さくで良かったです(^.^) 2023年8月

林田沙也香 (事務補佐員)



『saseboの空』

古屋野先生御就任100年記念誌（仮）



たくさんの貴重なお写真と原稿をお寄せいただき、
ありがとうございました。

今年度中にお手元に届けられるように
最終調整中です。



長崎大学第二外科同門会



編集委員長：金高 賢悟

診療応援・代診について

2024年 診療応援・代診施設

4 施設 延べ130日間

本年のまとめと今後の展望

項目	実績値	順位(位)
教育 ▼	4,030	1
授業	930	11
院生指導	3,100	1
教科書	0	10
その他の教育活動	0	28
研究 ▼	6,391	4
WoS収録論文数	1,960	2
論文数	988	6
論文当り被引用数	1,443	4
著書	0	16
芸術活動等	0	3
研究費獲得件数	700	8
特許出願・登録	900	1
受賞	0	13
講演・口頭発表等	400	8
国際化 ▼	777	2
英語授業	297	4
留学生指導	400	1
留学支援(日本人学生)	0	3
学生交流に関する賞賛締結	0	5
国際共著	80	5
国際学会での講演・口頭発表等	0	10
地域・社会貢献 ▼	2,280	4
社会貢献活動	2,000	1
初期研修医教育	100	7
メディア報道	180	4
外部資金 ▼	4,546	7
間接経費	3,445	7
病院粗利益	1,101	5
大学運営 ▼	0	69
全学委員会・学長GW	0	37
官公費	0	11
病院運営	0	2
入試業務	0	49
プラネタリーヘルスへの取り組み ▼	300	2
プラネタリーヘルスへの取り組み	300	2

活動状況結果実績データ

対象者：2023年5月1日および2024年5月1日に長崎大学に在籍する教員

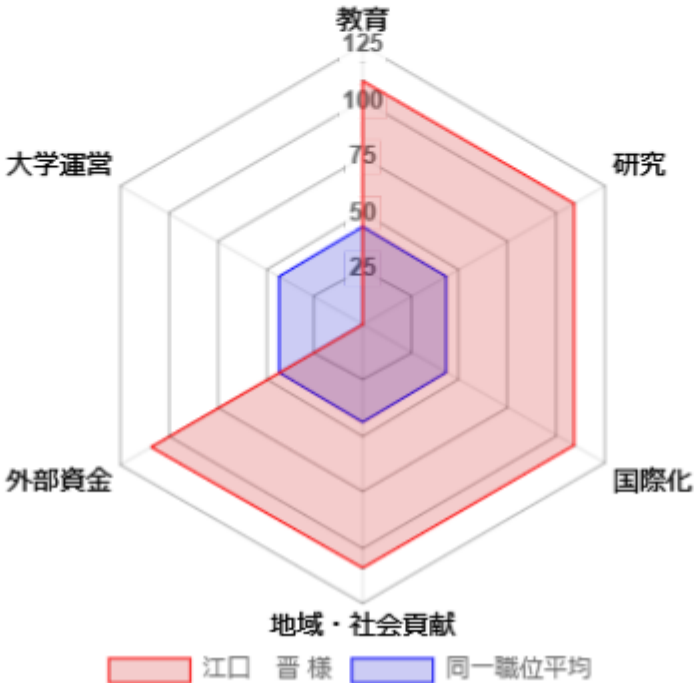
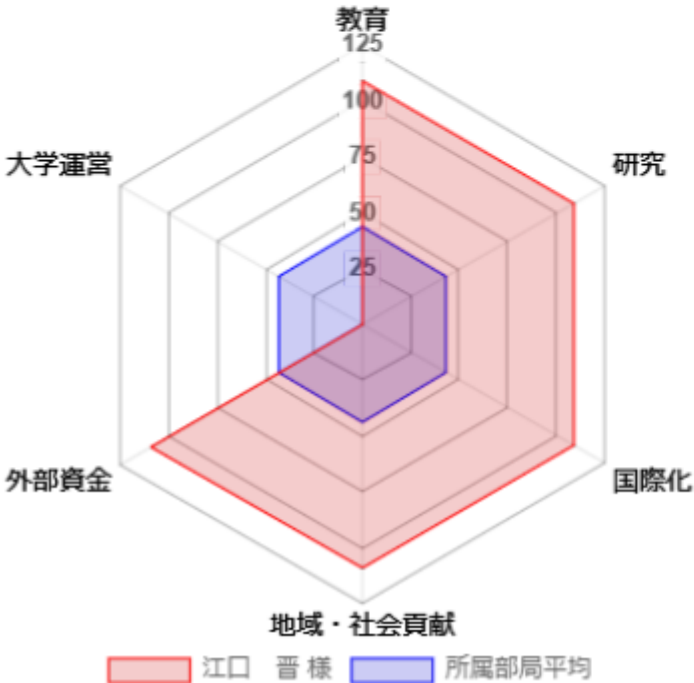
対象者数

所属部局	121人
同一職位	287人
全学	1026人

氏 名	江口 晋
職員番号	83886526
所属部局	医学部医学科
職 位	教授

所属部局平均との比較（所属部局平均を50として表示）

同一職位平均との比較（同一職位平均を50として表示）



現在の外科学教室の枠組みの問題点

長所

- 長い伝統の中でお互いに切磋琢磨して臨床・研究・教育で両講座とも成果を上げてきた。
- それぞれの関連病院と強固な連携関係ができています。
- 入局者を確保できており、優秀な人材を輩出している。
- 外科全般にわたる修練が可能である。

問題点

- 診療科重複のため、学生や研修医（特に他学出身者）に特徴が分かりにくい。
- 診療科重複のため、入局者が分散あるいは敬遠している可能性がある。
- 診療科重複のため、医療安全上の問題あり（群馬大学の例）。
- 診療科重複のため、症例が分散し高度医療、臨床研究を行う上で効率的でない。
- 関連病院が限定されるため、地域病院への専門人材の派遣が困難な可能性がある。
- 全国的には統合・再編によるマンパワー充実化の傾向にある。

2025年度 外科入局情報

- 2025年度より外科は**大講座**となります。
- 呼吸器・乳腺内分泌外科
- 肝胆膵・小児外科
- 心臓血管外科
- 胃・食道外科
- 大腸・肛門外科
- 3年目～5年目の医師は、1外・2外・心外などに**入局せず**、外科ハブセンターへの所属となります。

外科研修における、大講座制のメリット

- 1 外・2 外・心外に関連する全ての臓器の手術を経験した上で6 年目以降に専門を決めることができます。
- 関連病院が格段に増えます。 ⇒ 選択肢の幅が広がります。
- **外科**を選択できます。外科3 科を比較して悩む必要ありません。

詳細に関しましては、後日開催の説明会でお伝えします。日時が決定しましたら改めて御連絡致します。

個人的な相談は、各医局長まで。

荒井淳一（腫瘍外科）

j-arai@nagasaki-u.ac.jp

井上悠介（移植・消化器外科）

inoue17@nagasaki-u.ac.jp

松丸一郎（心臓血管外科）

ichiro-m@nagasaki-u.ac.jp

外科学講座

医歯薬
大学院

三浦

心臓・血管外科学
分野

松本

腫瘍外科学分野

江口

移植・消化器外科学
分野

病院
診療科

三浦

心臓・血管外科

松本

乳腺・内分泌外科

呼吸器外科

低侵襲外科C
野中

大腸・肛門外科（下部）

消化器・再生医療C
金高

食道・胃外科（上部）

江口

小児外科

肝胆膵・肝移植

外科ハブセンター

2025年4月より

- 各診療科長の下で**臨床**カンファレンスを行う
 - ✓呼吸器・乳腺内分泌外科
 - ✓肝胆膵・小児外科
 - ✓胃食道外科
 - ✓大腸肛門外科
 - ✓心臓血管外科

(現行の1外科・2外科の**臨床**カンファレンスは中止)

- 月数回、**外科学講座全員の連絡会議**を行う。
- 手術曜日・外来曜日は各診療科で調整していく。
- 胃・食道外科、大腸・肛門外科の教授室を作る。
- ポリクリは全ての診療科を学習できるように工夫する。
- 居住区は当初は現況通りだが、今後、整理していく。





zlyas

おわりに

今後とも教室へのご支援宜しく
お願い申し上げます。

皆さんが楽しく外科医を続けられる
ように、考えていきたいと存じます。

診療応援・代診などのご要望は、
医局長までお知らせください。